

1 単元名 球技「バスケットボール」

2 単元の目標

- (1) 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。 【関心・意欲・態度】
- (2) 課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 【思考・判断】
- (3) ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防を展開できるようにする。 【技能】
- (4) バスケットボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解する。 【知識】

3 基盤

(1) 教材観

球技は、ゴール型、ネット型及びベースボール型などから構成され、個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競うことに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。バスケットボールは、球技の中でも「ゴール型」として位置づけられる。小学校では、「ゲーム」と「ボール運動」で簡易化されたゲームでルールを工夫したり、チームの特徴に応じた作戦を立てたりして攻防を展開できるようにすることをねらいとした学習をしている。中学校では、これらの学習を受けて、基本的な技能や仲間と連携した動きを発展させて、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームが展開できるようにすることが求められる。したがって、第1学年及び第2学年では、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的なボールや用具、仲間と連携した動きで攻防を展開できるようにする。また、球技の学習に積極的に取り組み、フェアにプレイすること、分担した役割を果たすことや、話し合いに参加することなどに意欲をもち、自己の健康や安全に気を配るとともに、技術の名称や行い方などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにすることが大切である。このような点から、バスケットボールは中学生の時期に適している教材の一つであると言える。

(2) 生徒観 ～省略～

(3) 指導観

バスケットボールでは、「ボール操作」や「ボールを持たない時の動き」などの基本的な技能を身につけさせ、その技能を活用しながら、いかに試合をすすめていくかを追求していきたい。本校では、球技「ゴール型」として3ヵ年を通じてバスケットボールに取り組む。第1学年及び第2学年では、攻撃を重視し、空間に仲間と連携して走り込み、マークをかわしてゴール前での攻防を展開できるように指導したい。第1学年では、基本的な技能のなかでも特に「ボール操作」を中心に扱い、ドリブルやターン、パスなどのボールハンドリングをスムーズに行えること目指す。ドリブルやパスは力強くおこなうことで安定するというところに気付かせたい。また、その時の姿勢や体の使い方についても教え、ポイントを習得させたいと考えている。

第2学年では、第1学年で学習した「ボール操作」の基礎基本をもとに、攻撃を重視し、より実践的な場面を想定する。そこで、生徒が思考・判断を繰り返しながらよりよく上達できるよう、練習方法を模索させていきたい。「仲間と連携して空間を崩していき、攻撃のチャンスをつくりだしシュートインで終わらせる」ということについて理解

させ、「めざすゲーム像」について共通理解を図りたい。そのためにはまず、1対1の攻め方と守り方を身につけさせ、そのうえで、攻撃と防衛のそれぞれの役割から考えられる場面を想定できるようにしたい。シュートを決めるところまでいくには、攻撃中に常に「ゴールがどこなのか」を意識しなければならない。四角パスや2メンパスなどの「動きながらつなぐパス」について学習するなかで、攻撃の際の視線、走り込むタイミングやスピードなどについて、生徒自身やチームの課題意識をもたせるようにしたい。

第2次の終盤に位置付けられている本時では、これまでに学んだ「空間に走り込み攻撃する」をゲームの中でつくりだすことを目指して行う。5人を一つのグループとして、攻撃を重視した学習課題を設定し活動する。時間を区切り、攻撃5人と守り3人に分かれて行うが、アウトナンバーの状況を意図的に設定することで、より空間に走り込む場面を生み出せるのではないかと考えている。スペースの見極め、タイミングの良い声かけやパスが攻撃を仕掛けるうえでいかに有効かを考えさせたい。ゲーム中、攻撃に関わらない生徒がでるが、コート外から得点係や動き観察をしながら学びを深めさせていきたい。グループ活動の際は、自分の意見を安心して語れる雰囲気作りを心がけていきたい。生徒は、ゲームの勝敗にこだわるために、偏ったパス回しや単調な攻撃に陥りやすい。「魔法のサークル」という名のポイントゲートを導入し、仲間と連携してスペースを作り出し、既習のランニングシュートやカットインプレイを活用することに重点をおき、活動できるよう指導する。

4 単元の評価規準 ○：第2学年の評価規準 ・：第1学年の評価規準

| 運動への<br>関心・意欲・態度  | 運動についての<br>思考・判断  | 運動の技能   | 運動についての<br>知識・理解  |
|---|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェアなプレイを守ろうとしている。</li> <li>・分担した役割を果たそうとしている。</li> <li>・仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>①健康・安全に留意している</li> <li>②球技の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>③作戦などについての話し合いに参加しようとしている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を身に付けている。</li> <li>・自己やチームの課題を見付けている。</li> <li>①ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。</li> <li>②提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</li> <li>③学習した安全上の留意点を他の練習場面や試合場面で当てはめている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴール方向に守備者がいない位置でシュートができる。</li> <li>・マークされていない味方にパスを出すことができる。</li> <li>・パスやドリブルなどでボールをキープすることができる。</li> <li>・ボールとゴールが同時に見える場所に立つことができる。</li> <li>・ボールを持っている相手をマークすることができる。</li> <li>①ゴール前での攻防を展開するためのボール操作ができる。</li> <li>②得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる。</li> <li>③パスを受けるために、ゴール前の空いている場所に動くことができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技の特性や成り立ちについて、学習した具体例をあげている。</li> <li>・球技に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>①技術の名称や行い方について、学習した具体例をあげている。</li> <li>②試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> </ul> |

5 指導計画と評価計画（全12時間：本時8／12）

（1）指導と評価計画

| 時間 | 学習のねらい  | おもな学習活動  | 評価規準（評価方法）   |
|----|---|--|--|
| 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ルールやラインの名称、役割について既習事項を確認する。</li> <li>○バスケットボールの試合のイメージをつかむことができる。</li> <li>○健康・安全に留意することの重要性を理解する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○オリエンテーション</li> <li>○VTR 学習</li> <li>○ルール説明</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○バスケットボールの特性や成り立ち、技術の名称について正しく理解している。</li> </ul> <p>【知・理①】<br/>（ワークシート）</p> |
| 2  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的なボール操作について既習内容の確認をする。</li> <li>○学習に積極的に取り組もうとすることの重要性を理解する。</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○スキルチェック①<br/>（ドリブル、パス、シュート）</li> <li>○ためしのゲーム<br/>（オールコート）</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○健康・安全に留意している。</li> </ul> <p>【関・意・態①】（観察）</p>                               |
| 3  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○既習内容の確認（力強いドリブル、リズム、正確なシュート）</li> <li>○動きながらパスをつなげる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的なボール操作の練習<br/>・ドリブルシュート</li> <li>○四角パス（基礎編）<br/>（行い方、ポイント）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○球技の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> </ul> <p>【関・意・態②】（観察）</p>                       |
| 4  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的なボール操作を確認する。</li> <li>○仲間と連携し、スピード感をもってパスをつなげる。</li> <li>○正確なパスや空間に走り込む動きをつかってゴールに迫る。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○四角パス（応用編）<br/>・ボールを1つ～3つ</li> <li>○2メンパス</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ゴール前での攻防を展開するためのボール操作ができる。</li> </ul> <p>【技能①】（観察）</p>                     |
| 5  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○空間に走り込む動きによりゴール前での攻防を展開できる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○鳥かごゲーム</li> <li>○カットインプレイ<br/>・2対1<br/>・2対2</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○パスを受けるためにゴール前の空いている場所に動くことができる。</li> </ul> <p>【技能③】（観察）</p>                |
| 6  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的なボール操作や空間に走り込む動きによりゴール前での攻防を展開できる。</li> <li>○みんなで作戦をたてることの重要性を理解する。</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○カットインプレイ<br/>・3対2</li> <li>○グループ反省会<br/>「みんなが目指すゲーム像」</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる</li> </ul> <p>【技能②】（観察）</p>                      |
| 7  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○空間に走り込む動きを展開できる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○サークルインゲーム5対3</li> <li>○課題設定（連動した攻撃）</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○作戦などについての話し合いに参加しようとしている。</li> </ul> <p>【関・意・態③】</p>                       |

|    |   |  |   |
|----|---|--|---|
| 8  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的なボール操作を確認する。</li> <li>○ボールを持たない時の動きを見に付けるための運動の行い方やそのポイントを見付ける。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○サークルインゲーム5対3</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。</li> <li>【思考・判断①】<br/>(ワークシート、観察)</li> </ul> |
| 9  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ハーフコートゲーム</li> <li>○グループ反省会</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○作戦などについての話し合いに参加しようとしている。</li> <li>【関・意・態③】(観察)</li> </ul>  |
| 10 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○試合の行い方を理解する。</li> <li>○習得した技能や戦術を生かしゲームができる。</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○まとめのゲーム①<br/>(リーグ戦)</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>【知・理②】<br/>(ワークシート)</li> </ul>                                 |
| 11 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</li> <li>○習得した技能や戦術を生かしゲームができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○まとめのゲーム②<br/>(リーグ戦)</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</li> <li>【思・判②】</li> </ul>                                   |
| 12 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、積極的に取り組んでいる。</li> <li>○習得した技能や戦術を生かしゲームができる。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○作戦会議</li> <li>○まとめのゲーム③<br/>(トーナメント戦)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習した安全上の留意点を他の練習場面や試合場面で当てはめている。</li> <li>【思・判③】<br/>(ワークシート)</li> </ul>                          |

(2) 指導内容及び「学習活動に即した評価規準（第2学年 球技；バスケットボール）」

| 運動への<br>関心・意欲態度   | 運動についての<br>思考・判断   | 運動の技能   | 運動についての<br>知識・理解   |
|---|--|---|--|
| <p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体調に異常を感じたときには運動を中止すること。</li> <li>・ルールを守ることによって安全性や公平性が確保されること。</li> <li>・道具の使い方の約束を守ることによって事故の防止につながる。</li> </ul> <p>↓</p> <p>【評価規準】</p> <p>①健康・安全に留意している。</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人は誰でも学習によって技能が向上する可能性があり、そのことが勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことにもつながること。</li> </ul> <p>↓</p> <p>②球技の学習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームの一員として技術面のみならず、攻防のアイデアを出し合うこと。</li> <li>・他者観察により気付いたことを伝えることで新たな課題を見付けることができること。</li> </ul> <p>↓</p> <p>③作戦などについての話し合いに参加しようとしている。</p> | <p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決のイメージをもち、タイミングよく空間に走り込む動きに気付くこと。</li> <li>・自他の様子を観察し合い、課題に気づくこと。</li> </ul> <p>↓</p> <p>【評価規準】</p> <p>①ボール操作やボールを持たない時の動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマをしぼり、課題解決につながるような練習方法の提示。</li> </ul> <p>↓</p> <p>②提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術習得のための課題学習やゲームの場面で、学習した安全面の知識を活用する場面の設定。</li> </ul> <p>↓</p> <p>③学習した安全上の留意点を他の練習場面や試合場面で当てはめている。</p> | <p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・得点へつなげるためのドリブルや、正確なパスが重要であること。</li> </ul> <p>↓</p> <p>【評価規準】</p> <p>①ゴール前での攻防を展開するためのボール操作ができる。</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単にカットされないパス（スピード、種類）を用いること。</li> <li>・広い視野を持ちながらボールをコントロールすること。</li> </ul> <p>↓</p> <p>②得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる。</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールと周りの状況の両方を視野に入れる意識をもつこと。</li> <li>・タイミング良くスペースに走りこむ。</li> </ul> <p>↓</p> <p>③パスを受けるためにゴール前の空いている場所に動くことができる。</p> | <p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケットボールは、個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で得失点をめぐる攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができる運動であること。</li> </ul> <p>↓</p> <p>【評価規準】</p> <p>①バスケットボールの特性や成り立ち、技術の名称について正しく理解した具体例をあげている。</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームのルールを理解し、審判や試合運営ができること。</li> </ul> <p>↓</p> <p>②試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。</p> |

(3) 学習過程と評価機会とその方法

| 次<br>学               | 第1次                         |   | 第2次                             |      |        |          |                |                  |         | 第3次  |    |    |
|----------------------|-----------------------------|---|---------------------------------|------|--------|----------|----------------|------------------|---------|------|----|----|
|                      | 1                           | 2 | 3                               | 4    | 5      | 6        | 7              | 8                | 9       | 10   | 11 | 12 |
| 10<br>20<br>30<br>40 | シンオリ<br>ンテー<br>エ            |   | 集合、健康観察、整列、挨拶、準備運動、授業のねらいや流れを確認 |      |        |          |                |                  |         |      |    |    |
|                      | 学<br>習<br>V<br>T<br>R       |   | ドリブル<br>シュート                    | 四角パス | 鳥かごゲーム | カットインプレイ | サークルインゲーム(5対3) | 5対5<br>ハーフコートゲーム | まとめのゲーム | 作戦会議 |    |    |
|                      | バスケットの歴史<br>ルール確認<br>試しのゲーム |   | グループミーティング                      |      |        |          |                |                  |         |      |    |    |
|                      | 片付け、集合、全体のまとめ、挨拶            |   |                                 |      |        |          |                |                  |         |      |    |    |

|   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 評 | 関 | 意 | 態 | ① | ②① | ②  |    |   | ③ | ③ |   | ③ |   |   |   |
|   | 思 | 判 |   |   |    |    |    |   |   |   | ① |   |   | ② | ③ |
|   | 技 | 能 |   |   | ①  | ③① | ②③ | ② |   |   |   |   |   |   |   |
|   | 知 | 理 |   | ① |    |    |    |   |   |   |   |   | ② |   |   |

●指導機会 ○評価—関心・意欲・態度については、指導して一定期間置いてから評価する。

6 本時の学習

(1) ねらい

○ボールを持たないときの動きを身に付けるための運動の行い方やそのポイントを見付けることができる。【思・判①】

(2) 準備

バスケットボール6球、黒板、記録カード、学び合いセット（作戦板、マグネット、マーカー、ラミネートシート）、ピプス（各チーム）

(3) 展開

| 過程            | 学習活動  | ○教師の支援                                      | ☆評価   |
|---------------|---|---|---|
| 導入<br>10<br>分 | <p>○集合、整列、挨拶、健康観察</p> <p>○準備運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランニング（ボールあり）、ストレッチ</li> <li>・対面パス（班ごと）</li> </ul> <p>○本時の学習内容を知る</p> | <p>○健康状態を観察し、体調の悪い生徒については無理をさせないよう配慮する。</p> | <p>○本時の流れと課題を知らせ、見通しをもって学習できるようにする。（カードで掲示）</p> |

| 空間に走り込む動きを使って攻撃しよう！ |  |
|---------------------|--|
| 展開<br>35<br>分       | <p>○既習事項の確認。<br/>これまでのチームの課題を確認する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>◎サークルインゲーム<br/>5対3</p> <p>1. ルール確認（別紙参照）</p> <p>2. グループ活動（3分）<br/>・役割分担（攻撃5/守備記録3）<br/>・作戦の確認</p> <p>3. 実践</p> <p>①ゲーム（前後半・各3分）</p> <p>②作戦タイム（5分）</p> <p>③ゲーム（前後半・各3分）</p> <p>④ふり返り</p>   |
| 終末<br>5分            | <p>○理想的な攻撃について、ボールを持つとき（個人的な動き）にどのような意識を必要とするか思い出させる。<br/>・理想的な攻撃<br/>→パスが通る、シュートを狙っている</p> <p>○持たないとき（集団的な動き）を考えることが本時の課題であることを理解させる。</p> <p>○空間に走り込む攻撃を重視した課題解決ができるように、アウトナンバーの場面を設定する。</p> <p>○前時のサークルインゲームでの課題と本時の作戦を確認する。（ラミネートシート）</p> <p>○正確に得点をつけることができているか確認する。</p> <p>☆ボール操作やボールを持たない時の動きなどの技術を身につけるための運動の行い方のポイントを見付けている。<br/>【思・判①】（観察）</p> <p>○「カットインプレイ」を意識し、攻撃の作戦をたてることができるように支援する。<br/>・スタート時のポジション<br/>・役割分担（守備、記録）</p> <p>○個別にワークシートに結果を記入し、スペースに走り込む意識をもったプレーについて振り返ることができるようにする。</p> |
|                     | <p>○本時のまとめ<br/>○次時予告<br/>○片付け、整理運動、挨拶</p>  |
|                     | <p>○ねらいにせまる効果的な活動ができたグループの様子を紹介し、次時の確認ゲームへの意欲を高める。</p>   |

#### （４）本時の評価

|              | 十分満足できると判断される生徒の具体例  | 概ね満足できると判断される生徒の具体例                                  | 支援を必要とする生徒への指導の手当て                              |
|--------------|--|--|---|
| 運動についての思考・判断 | ・ボール操作やボールを持たない時の動きなどの技術を身につけるための運動の行い方のポイントを見付け、作戦に生かすことができる。 | ・ボール操作やボールを持たない時の動きなどの技術を身につけるための運動の行い方のポイントを見付けている。 | ・うまくいかない原因を説明し、ホワイトボードなどを活用して、課題解決のポイントを明らかにする。 |

#### 7 本時の視点

- ・話し合いを積極的に行うための、ホワイトボードの活用は有効であったか。
- ・空間に走り込みシュートを打つことを意識するためのサークルインゲームは有効であったか。

# サークルインゲームの行い方

## 1. ルール説明

- ・ 1チーム6～7人
- ・ 攻撃側5人、守備側3人。
- ・ 試合を各3分間の前後半に分けて、2回戦おこなう。（ 1回戦 → 作戦会議 → 2回戦 ）
- ・ 前後半で攻撃（3分）と守備（3分）が交代する。
- ・ カットボール、シュートまたは守備にボールをとられた場合は、センターサークル内から攻撃をリスタートさせる。
- ・ スタート時の攻撃側のポジションは、所定の5か所から。
- ・ 攻撃はドリブル禁止。パスのみで攻撃をする。
- ・ 守備は、攻撃のパスカットを狙う。ボールを持っている人に1メートル以上近づかない。

## 2. 得点方法

- ☆ 魔法のサークル内に走り込んでシュート IN → 4点
- ☆ 制限区域内からのシュート（サークル以外） IN → 2点
- ☆ サークル、制限区域以外からのシュート IN → 1点

